

櫻

けやき

小牧幼稚園 園だより 第400号 2025年3月

教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」

年主題「さあ、漕ぎ出そう 奏しよう」

年聖句 イエスは言われた「私は道であり、真理であり、命で

ある。私を通らなければ、だれも父のもとに行くことは
できない」

ヨハネによる福音書14章4～6節

今号でみどり組のご家庭とは、最後の号になりました。偶然ですが、この園だよりが、きりの良い「400号」となりました。第1号は、1985（S40）年4月27日発行で、私が園長に就任した年から始まりました。400号で40年と語呂合わせになりました。園長になり、40年になり、そろそろいつ引退しても良い時期になりました。今は副園長・主任を中心に回っていますので、私の出る幕は少なくなり少し楽させて頂いています。

園だより第1号、1年目の主題は「躍動する子ども」主題の解説は、「空間・時間・仲間の欠ける時代」とあり、子どもの遊び場の変わり様、時間に追われていく子ども、それにより遊び仲間が限定されて行く。そんな時代に子どもが躍動してほしいとの願いで主題となりました。第1号は「ガリ版刷り」で、ほとんどの方ご存じないと思いますが、鉄筆を使い「蠟（ろう）原紙」に手で書き込み、印刷機にはさみローラーで一枚ずつ印刷しました。今は、PCに入力し、印刷機で、数分で印刷されます。ただ、変わらないのは、40年変わらず、自分の能力の限界を知る、原稿を作りが大変です。その後の、園長補佐のシビアな校正が待っていて、毎月の園だよりを完成すると一ヶ月分の仕事が終わった！という気持ちになります。この頃手抜きがあるとお気づきの方もいるかもしれませんが、よくもこの作業が40年、400号続いたものだと、我ながら感心しています。この号で卒園組のご家庭とはお別れになりますが、HPなどでご覧いただけますので、読まなくても、園だよりが掲載されていれば、「園長がまだ元気」の証明ですので、是非、開いてみてください。

長くて3年以上、今年入園した園児で1年、お付き合いいただきました。コロナ感染から、やっと落ち着いてきた頃の入園です。小牧幼稚園は、子どもが群れて遊ぶことが大事と思っています。そんな難しい時代を超えて入園してきた「世代」が卒園します。後遺症的な園での生活もあり、1年目のもも組さんも、担任が色々工夫しながら子どもたちが園に喜んで登園してくれるよう試行錯誤の毎日で、群れて遊ぶ友達ができることの喜びを一日でも早く、心と体で感じてもらえるよう環境を準備し、子ども



もが幼稚園大好きになってもらえるよう祈ってきました。その子たちが、卒園していきます。卒園式の晴れ姿は、みどり組の先生の喜びではありますが、3年前の「子」を

思う、もも組の担任は、母親目線で卒園を見送ります。担任だけで有りませんオムツを取り換えてくれた、講師の先生たちも同様ですし、バスの運転手さんは朝のご機嫌を心配し、給食のおばさんはご飯が残らないと喜び、残ると淋しい思いをしていました。この3年間ほどの時間は、私たちみんなで見守り、一人一人の子の支えとなってきました。子どもの心に何が残っているのでしょうか。「さあ 漕ぎ出そう 奏でしょう」となったのでしょうか？明日へ漕ぎ出せますか？みんなで奏でることができたのでしょうか？

漕ぎ出したみんなと、6年後同窓会で会えることを楽しみにしています。子どもだけでなく、お父さん・お母さんとお会いできることも楽しみです。今、新中学生の同窓会の申し込みをしていますが、私も参加して良いですか？との、ついでにお母さんからの問い合わせもあります。是非お会いしたいです。

後、数日になりましたみどり組の園生活ですが、思い出作りより、明日への希望で溢れる最後の園生活が送れる様、祈っています。

☆愛知県経常費補助金のお知らせ

愛知県は極めて厳しい財政状況の中で、県下の幼稚園に対して多額の補助金を交付され、私学助成の充実に力を注いでいます。この補助金は、幼稚園の人件費・消耗品等、教育に必要な経常費的経費に補助されるもので、次の3点が目的になります。①教育条件の維持向上、②父母負担の軽減、③経営の安定化です。小牧幼稚園は令和6年度、30,740,000円（園児一人当たり307,400円）の補助を受け、前記の3項目に対して、効果が見られ来年度も継続的・安定的な経営が見込まれそうです。また、当園は、これ以外に、特別支援教育にも力を注いでいるため、そのための補助も頂いています。

☆父母の会活動にご協力ありがとうございました。今年度の会計報告は、来年度に園だよりで報告します。

☆退職者のお知らせ

1994（平成6）年から31年余り給食作りを担当して頂いた、T・Yさんが退職されることになりました。長い間ありがとうございました。

また、N・T先生、M・O先生も本年度で退職されることになりました。

皆様にいつまでも神様のご加護ありますようにお祈りいたします。

☆3月25日は「新中学生」の同窓会を行います。知り合いで、来年度中学生になる卒園生がお見えでしたら、声をおかけ下さい。